

星屑

VOL. 205
April. '92

☆太陽柱の写真を貼って下さい。☆

"たいようちゅう"と言つても
おでんとさまでいはなゐ。



熊本県民天文台



星霜移りて

関西支部 土山由起子

県民天文台の皆様、御無沙汰しております。今年の正月は、入会以来10回連続で出席していた新年会を、ついに、とうとう欠席してしまい、せめて星屑にでも登場しておこうかと、昨年秋に依頼されていた原稿を、今頃書いている次第です。

とはいっても、最近は何もやっていない私。昨年7月には、大学時代のサークル仲間10人ほどで集まって、天ガのハワイ日食ツアーパーに参加しましたが、見事に曇られ、「皆既中は暗くなる」ことだけを確認して帰国しました。まあ、雲ごとき参っていては、天文ファンは務まりません。次は、どこの日食がねらいめでしょうか？

そういえば、今年1月5日の部分日食も、実家の押し入れ深くに埋もれていた望遠鏡を、苦労の末引っ張り出して早起きしたのに、やはり雲が。つい先日も、奈良県大塔村にある天文学習センターに予約していたら、当日、30cmの積雪でドームも動かせないと言われ、あえなくキャンセル。どうも、運に見離されていると言いますか。まあ、今は、きっと天文に関しては、将来に向けての充電期間なのであります。

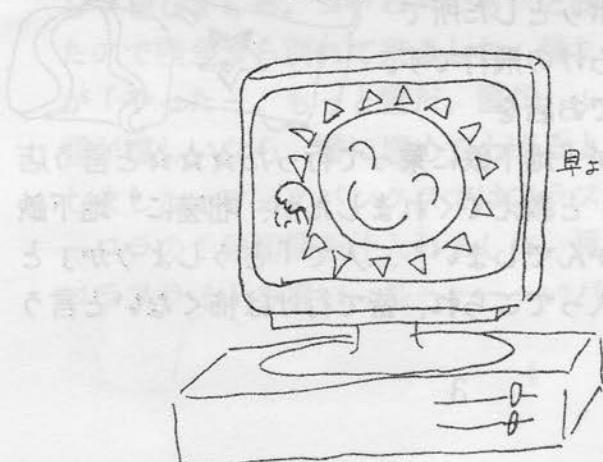
こんな日を送りながらも、よく学生の頃を思い出します。空に晴れ間がある限り、一日欠かさず太陽をとらえよう。そう思って、必死で太陽を追いかけ、黒点観測をしていました。毎日雲の流れにピクついて、天気次第でスケジュールを調整し、されども講義中や実験中に雲の間から日がさすと、「もし今だけが、今日の晴れ間だっ

たらどうしよう」とやきもきしたものです。社会人になっても、個人で観測を始めるんだと、疑いもせずに思っていました。

しかし、いざ就職してみると、家が建てて混んだ住宅街、出勤前の低い太陽が見えるのは、道路の真中くらいのもの。昼間は会社に縛られ、暇もない。黒点観測は、毎日やらねば意味がないのに。やはり、定年退職まで観測再開は無理なのか。そんなことでは、90歳まで生きても11年周期を3回しか見られないではないか。そして、あっという間に6年が過ぎ去って、今、少しづつ、世界が動き始めている気がします。

昨年夏、大学の星仲間の一人と”永続的共同生活”を始め（非婚主義なのです。姓も変わっていませんのでよろしくお願ひします）、最近その同居人と一緒に、晴れた休日に、目と腕を馴らすための黒点スケッチをしたり、データ整理法を考えるためにパソコンを勉強したりしています。それだけでも、けっこう夢がふくらみ、観測再開を真剣に考える元気が出てくるものですね。おかげで、パソコン通信にまで興味が出てきて、現在、家でパソコンを買おうか、なんて、思案中です。

まだ当分は、毎朝5時半起床の余裕のない毎日。私の充電期間も続きます。いつかの時を、待ちながら。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆ サテンの舞い ☆

k u n i

バチバチバチ 思わず拍手をしてしまったのはチャタニ力に着いて2日目。現地時間で3月29日の午前1時半頃。ふと、北北西の方に目を向けたら突然、樹と樹の間がボーッと明るいのです。何だか今までと違う、と思って撮り掛けた写真を止め、慌ててカメラを向けました。段々その緑色の明るい固まりは光沢を増し、薄手のサテンの様に見えて来ます。そのサテンを誰かが空の上でゆっくり気紛れに引き揚げて行きます。まるで宙の舞台の操り人形のドレスの裾が、人形の踊りに合わせて宙へ宙へと昇って行く様ーこれがこの旅行の中で一番明るいオーロラを見た私の印象です。……なーんて、旅行前に「アラスカ物語」を読んだりしていたものだからこんな表現になってしまいました。

3月26日から4月1日にかけて、アラスカ・オーロラ観測ツアーに行って来ましたのでまだ記憶の新鮮な内に思い出を。

26日：今回熊本から一人きりの参加なのでちょっと気後れし乍ら成田へ集合しました。でも、去年の日食の時のメンバー数人と再会し、ホッとした所で先ずはシアトルへ。雲だらけの飛行です。

シアトルに着いて空港内でお店を覗いていると、お店の人が「地下鉄に乗って行った☆☆☆と言う店にもっと良いのが有るよ」と教えてくれましたが、咄嗟に”地下鉄は怖い、危険”と頭に浮かんでしまい、二人で「どうしようか」と言っていたら他の方々が入ってこられ、皆で行けば怖くないと言う



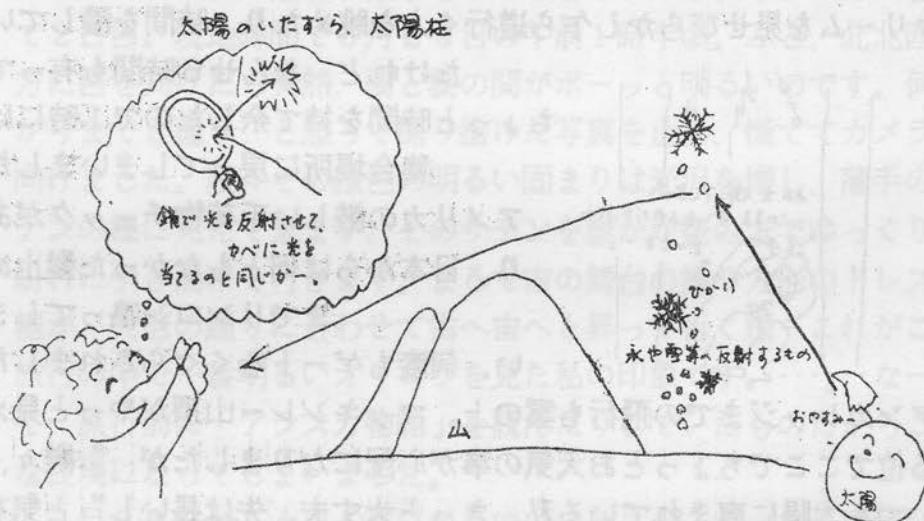
事で10人程で乗り込む事になりました。ところが、降りた所はまだ空港内。そうです、地下鉄はただ単に空港内の乗物だったのです。そこで安心してあちこち歩い、一応シアトルの土も踏まねばという事で10番ゲートから12番ゲートまでほんの5m程歩いてみました。勇気の有る3人は2時間で戻って来れる所まで行ってみると軽々と行ってしまい、私達はまた空港内に戻って昼食を取ったりアイスクリームを見せびらかし乍ら道行く人を眺めたり、時間を潰していく

たけれど、なんせ6時間も有ってちょっと時間を持て余したので1時には集合場所に戻ってしまいました。アメリカの厳しい手荷物チェックがあり、日本からは何ともなかった髪止めまでリンコン鳴ってしまい、何度もゲートをくぐらされました。

アンカレッジまでの飛行も雲の上。マッキンレー山頂がやっと見える位でここでちょっとお天氣の事が心配になりましたが、"嫌々、いつも太陽に恵まれている私。きっと大丈夫。先は長いし"と気を取り直して、ホテルへ。さすが、アンカレッジ。雪が一杯。もう、雪だけで感激てしまい、さっきの心配なんてどっかに行ってしまった。

27日：朝から散歩していると雪かきをしているおじいさんと話しました。コーヒーでも、と誘われましたが、時間が無かったので残念乍ら別れて来ました。慌ただしくフェアバンクスへ。私が「やったー。もっと雪だ。雪だ。」と喜んでいると、「そんなに雪が嬉しいなら、雪に埋めて上げるよ。」との有難いお言葉を頂戴しました。フェアバンクスではアラスカ大学の博物館に行って、オーロラの予備知識を仕入れました。見えなかった時の用心にとオーロラスライドを買い、長~~~~いバイブルインを見てやっと観測

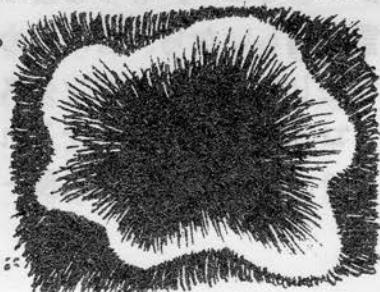
地チャタニカへ。この日は、所々晴れ間が見える程度の曇空です。ここにはオーロラを見に来た日本人が一杯で合う人毎に情報交換をしました。この夜はさしより期待半分で過ごしましたが、薄明までずっと曇りでした。ただし、太陽柱というものが見えました。この日は雲の上でオーロラが輝いているらしい、と判った事と太陽柱のおまけで終わりました。



28日：お昼に起きだし昼食を取って、各々好きな事をして過ごしました。数人はこの時野生のムースを見たそうですし、射撃をした人、休んだ人、犬橇に乗った人もいました。私は雪崩の起きそうな位騒いで、那須さんという北海道の方の御教授で生れて始めてのスキーに挑戦しました。御陰で疲れてしまい、夜に備えて1時間ほど仮眠を取る事ができました。目覚めた時にはすっかり元気、御天気も上々、さあ、観測準備O. K. です。

1時間程のゆっくりした夕食を済ませ、外に出てみるともう暗くなっています。
頭の上ではもう既にオーロラが揺れて

気合(きあ)、かい
想(おも)い、かう魚(うお)

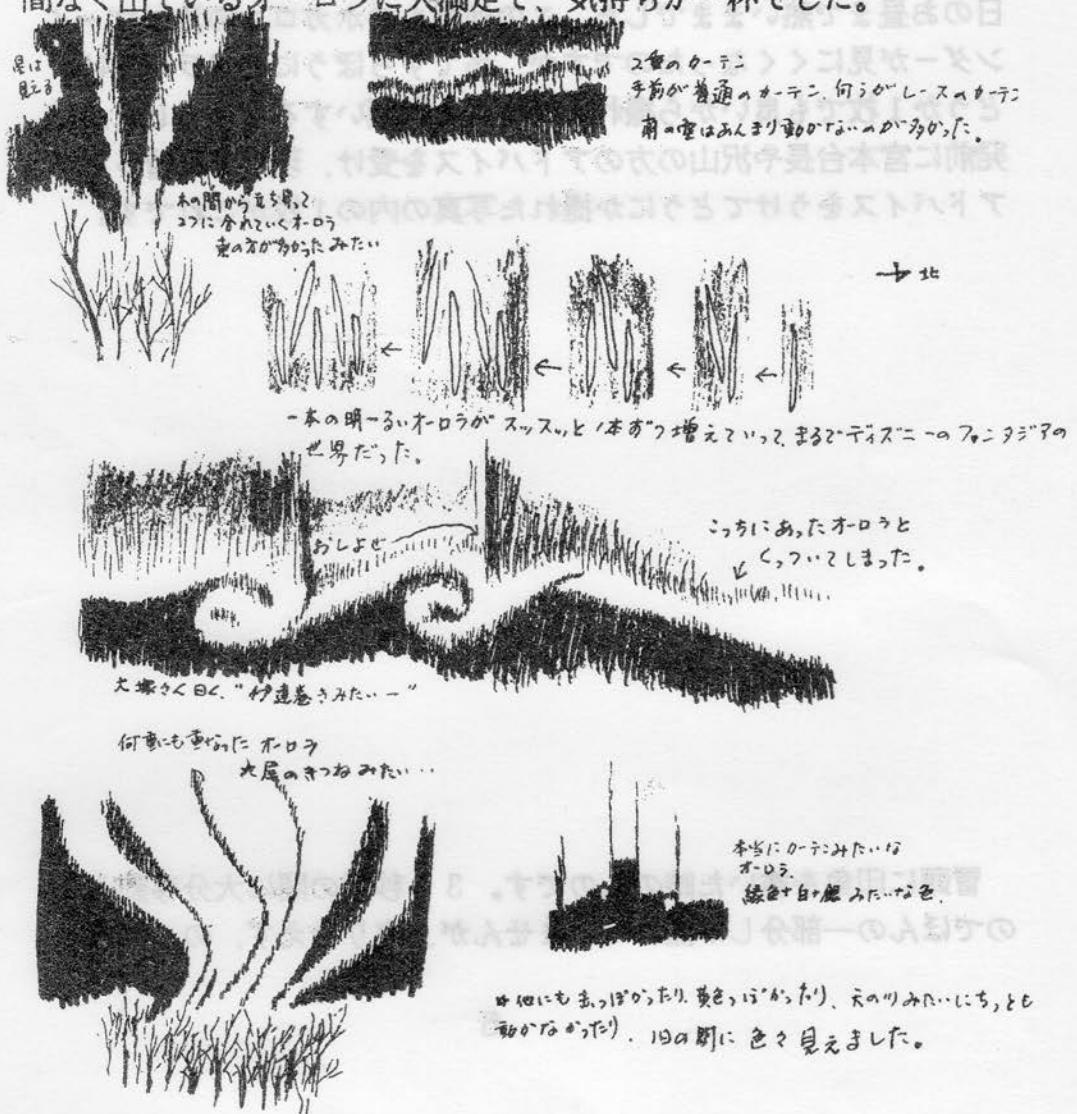


います。ちょうどオーロラの網の中に入った感じです。暫く空を見上げていると皆がぞろぞろ出てきて観測の為に分かれました。私も、写真が撮れるモノやら判りませんが一応カメラの用意をしました。ところが前日の寒さでライトの電池があつという間に無くなってしまっていたのです。仕方無いので時間は大体、1、2、3、…と数え、記録の取れない状態でした。カイロでレンズを守り、ホカロンも何重にも重ね、上からタオルを巻いて保温をしました。ホカロンもこうすると結構何時間も持つ物です。時々継ぎ足してやったら翌日のお昼まで熱いままでした。この何重ものホカロンの為にファインダーが見にくくなつたのですが、当てずっぽうにカメラを向け、どうか1枚でも良いから撮れます様にと御願いするだけでした。出発前に宮本台長や沢山の方のアドバイスを受け、現地でも皆さんにアドバイスをうけてどうにか撮れた写真の内の1枚がこれです。

冒頭に印象を書いた時のものです。30秒程の間に大分移動したのでほんの一部分しか撮れていませんが、取り合えず、の一枚です。



この日は他にも一本のオーロラが二本に別れて行く物や、二本のオーロラが重なって行って二重になった物、一本のオーロラがするすると伸びて行ったか、と思うと渦巻き出してもう一本のオーロラとくっついたり、ゆらゆら揺れてカーテンの様に棚引いたり、何本ものオーロラが重なり合って全天の3分の2程も被い、空が明るくなったりと、オーロラ大サービスの一夜でした。おまけに犬達はよく吼えるし、ロケットは2度も打ち上げられるし、何だか大騒ぎでした。逆に人間の方は圧倒されて騒ぐ暇もありませんでした。絶え間なく出ているオーロラに大満足で、気持ちが一杯でした。



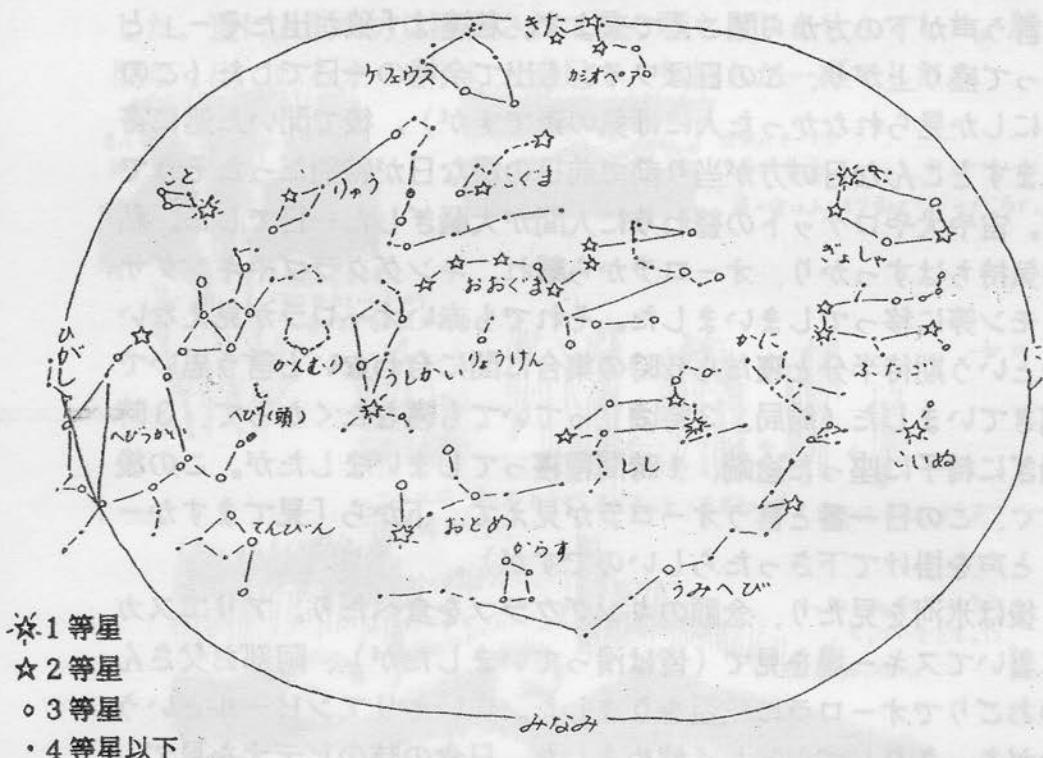
29日：皆気持ちがゆったりして、スキーを楽しんだり…と前日と同じ様な一日を過ごしました。私は阿部お父さんや椿さん、中村さん、高木さん等の同じツアーの方々の御指導でゆっくり滑れる様になり、おまけにターンも一度ですができたのです。しかしこの日はすっかりくたびれたのですが、逆に疲れなくなり観測の時間になりました。でもこの日は前日が嘘のように冴えない宙で「なんでー冴えないのー」と大笑いしたり、何も見えないのに「来た来たー」と言う声が下の方から聞こえて来ます。私達は「狼が出たぞー」といって盛り上がり、この日はワインも出て余裕の一日でした（この日にしか見られなかった人には気の毒ですが）。後で聞いた処に寄りますとこんな日の方が当り前で前日の様な日が特別だったそうです。宙や犬やロケットの替わりに人間が大騒ぎした一日でした。私の気持ちはすっかり、オーロラから離れ、キングクラブやキングサーモン等に移ってしまいました。それでも赤いオーロラが見えないかという期待半分と寝たら6時の集合に間に合わないと言う思いで起きていました（結局、3時頃立っていても寝むたくなって、3時過ぎに椅子に座った途端、1時間程寝てしましましたが。この後すぐ、この日一番と言うオーロラが見えて、下から「見てますかー？」と声を掛けて下さったらしいのですが）。

後は氷河を見たり、念願のキングクラブを食べたり。アリエスカに着いてスキー場を見て（皆は滑っていましたが）、阿部お父さんのおごりでオーロラに乾盃をしました。赤いキリアンビールというのがあっさりして美味しく飲めました。日食の時のビデオを見て、この旅行が終わったのでした。

そんなこんなであっと言う間にアラスカ旅行も終わってしまい、又、”帰りたくないよー”と言う思いと闘いながら帰途に着いたのです。そして、掌で解す様な優しい人達に今度はオーストラリアに行きたいね、と言い合い乍ら帰って來たのでした。

KEIKOの星空散歩

5月上旬 ☆ 午後9.00頃
5月下旬 ☆ 午後8.00頃



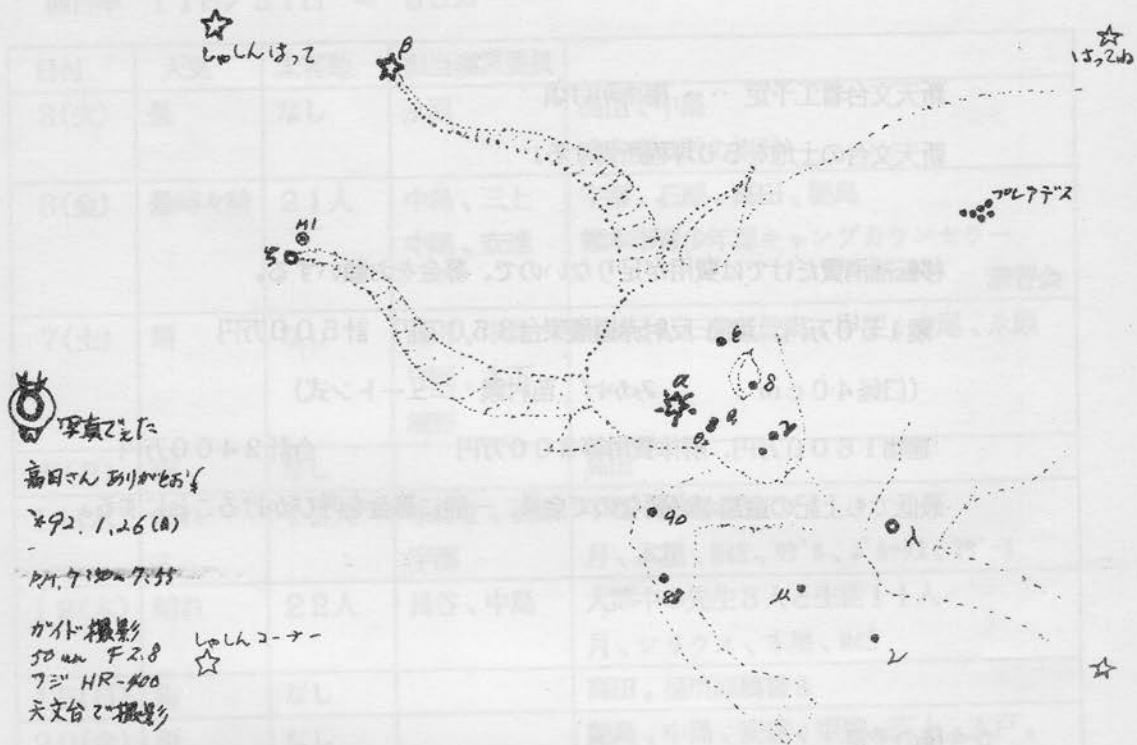
5月の星曆

- 3日（日） 新月 憲法記念日
- 4日（月） 国民の休日
- 5日（火） 子供の日
- 11日（月） Talk about (天文台)
- 16日（土） 十周年記念講演会 総会
- 17日（日） 満月

おうし座生れの会員さん(4.21~5.21)

Happy birthday☆	
No. 318	松尾さん
No. 319	糸永さん
No. 326	石原さん
No. 399	白石さん
No. 412	薮田さん
No. 419	林田さん

おうし座 Taurus (Tau)



”星はすばる”と詠われたブレアデスM45を含む雄牛座は、大神ゼウスがエウロペという王女を誘拐した時に変身した姿だと言われています。

エウロペが草を摘んでいると真っ白な牛がエウロペに近付いて来ました。美しいその姿に心を奪われたエウロペは思わずその牛の背中に乗りました。すると今までおとなしかった牛は急に走り出しました。海も歩く様に渡り、どんどん進んで行きます。仕方なくエウロペは牛にしがみつき、やっとの事で陸地に辿り着きました。この大地はつまり、ヨーロッパです。この地でゼウスとエウロペは結婚しました。

この雄牛座には2つの星の固まりがあります。一つは先のブレアデス、もう一つは雄牛座の一等星アルデバランを含むV字形のヒアデスです。このヒアデスは、私達の地球から一番近い散開星団だそうです。すばるは目で見ても綺麗ですが、双眼鏡、望遠鏡で見ると、碧く潤んだ様な姿をしていて、見てて飽きません。他にもM1(かに星雲)があります。これはぜひ一度望遠鏡で見て下さい。(でも、これはやっぱり冬の星座見頃の冬までお待ち下さい。)二重星では、α星、γ星、δ星等です。

11月始め頃は雄牛座流星群の時期です。流れる星の数は少ないのですが、ゆっくり飛んで、火球がよく見られます。

3月のTalk about 3月9日天文台にて

☆移転問題について

3月19日 移転補償締結

移転補償費 1975万円（新築工事費、現天文台解体費、引越し費用等）

新天文台着工予定 …… 梅雨明け頃

新天文台の土地を50坪程所得する。

移転補消費だけでは費用が足りないので、募金をお願いする。

鏡150万円、鏡筒 反射赤道儀架台350万円 計500万円

(口径40cm みかけ 苗村鏡 ニュートン式)

建物1600万円、解体費用等300万円 合計2400万円

最低でも上記の金額が必要なので会員、一般に募金を呼びかけることにする。

☆今後の予定

5月16日 総会

十周年記念講演会 (県立劇場)

10周年記念パーティー (交通センターホテル)

6月6日 宮本台長 チロ賞授賞式

梅雨明け頃 地鎮祭

1~2週間後 工事着工

8月4日 チロ望遠鏡訪問 (新天文台用地ー塚原古墳公園内)

8月8~9日 スターフェスタ (清和村)

【3月の県民天文台 ~運営日誌より~】

3月後半から続いた菜種梅雨のため、星が見えない夜が続きました。

来客数 59 人

開台率 11日/31日 = 35%

日付	天気	来客数	担当運営委員	
3(火)	曇	なし	永原	高田、中島 来台者の数の集計
6(金)	曇時々晴	21人	中島、三上 中尾、安達	宇都、石原、高田、艶島 熊本市青少年課キャンプカウンセラー 講習会
7(土)	晴	なし	高田、中島 守岡、木下 濱野	小林J、三上、艶島、甲斐、中尾、永原
9(月)	雨	なし		高田
11(水)	晴れ	12人	小林J、石原 宇都	中島、艶島、山口 月、木星、M42、ツバル、ボルクス、ミザール
12(木)	晴れ	22人	長谷、中島	大津中の先生3人と生徒11人 月、シリウス、木星、M42
15(日)	雨	なし		高田。星屑原稿書き
20(金)	雨	なし		艶島、中島、安達、甲斐、三上、木戸。 KAOグランプリの為4:00より集合
21(土)	晴れ	なし	中島	石原、木戸、艶島、山口 10周年記念誌の件など深夜まで打ち合せ
22(日)	晴のち曇	4人	艶島	金柿、石原。 10周年イラストを池永さんに依頼。
30(月)	曇	なし		艶島、中島、高田、永原、矢住、小林J 宮本 村山(緒方印刷)と10周年記念誌打ち合せ

【受領会誌】 会誌ありがとうございました。

「SINE」No123 広島天文協会

「New アストロインフォメーション」No26 大分天文協会

星屑ふらいいたあ

すかり
“やきだるま”に
なってしまったわ
ざでした。



今回は私のオーロラ記事が思いの外多くなってしまいました。失礼致しました。でも、皆様方も機会が有れば、是非見に行かれたら如何でしょうか。宮本台長やD. なべさんなら良い写真が撮れたのでしょうか、殆ど写真を撮った事の無い私。写真がなかなか撮れませんでした。チャタニカでは日本女性の2~3人連れを多く見かけましたし「オーロラを見に来たの?」と何回も尋ねられる程多くの日本人が訪れている様です。皆様方も是非見に行かれては如何でしょうか?。アラスカは、人も動物も人なつこい。チャタニカでは、寝袋を犬に取られた人は犬を枕にしていました。そこでその犬を「枕」と命名。以後、「まくらー」と呼ぶと、どこからともなく、

まくらが走って来る様になりました。

皆様も色々な出会いが楽しめる事と思います。

是非ご自分の目で色々な物に触れて

感動なさって下さいませ。

旅行前に色々御指導下さった宮本先生、

他の皆様ありがとうございました。

お陰様で快適な旅行になりました。



ところで、今回は総会の書類が同封されていますが、総会当日(5月16日)は十周年記念の講演会、小ゑんさんの落語等、予定が沢山です。時間も限られておりますので時間の節約の為、どうぞお読み下さい。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1992年4月号 通巻205号

発行所 熊本県民天文台 〒861-41 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 KUNI